# ほくえい介護予防フェスタ 2026

本日は、ご案内の会を開催いたしましたところ、多くの方に参加していただき、感謝申し上げます。

介護が必要となった方の要因で一番多いのが認知症と言われています。今回の介護予防フェスタは、認知症の予防について、開催しました。2 部制となっていまして、第 1 部の講演では、認知症、認知症予防学の権威である鳥取大学の浦上(うらかみ)先生を講師にお招きし、お話をいただきます。また、第 2 部では、脳や体の健康チェック、そして“においをかぐ力で認知症の疑いがわかる”「ニンテスト」を実施します。

北栄町では、要介護認定者のうち、7 割以上の方が認知症の疑いがあると推計しています。これは、65 歳以上の約 1 割に該当します。要介護になる要因の第 1 位が認知症とされています。

北栄町の高齢化率は約 38%で、県内で 19 市町村あるなかで 7 番目に低い数値です。要介護認定率は、15%で県内で一番低い状況です。これは、合併当初は一番高い数値でしたから、これまでの間、介護予防・認知症予防に取り組んできた成果だと思います。

このため、町では、さらに認知症予防に取り組むため、鳥取大学と連携して行った調査により、早期の認知症の疑いのある方、64 人に対し、戸別訪問し、必要な方の医療受診につなげたという事例もあります。

今回の取り組みとこれまでの認知症予防の取り組みを含め、これらによって、介護予防を進め、健康寿命を延ばしていただきたいと思います。

みなさまにもお願いがあります。本日の内容をぜひ、ご家族や友人等に復習の意味もこめて、お知らせください。そうすることで、認知症への理解、予防、対策が広がっていくと思います。

最後になりましたが、この会を開催するにあたり、ご尽力いただいた関係者のみなさまにお礼を申し上げますとともに、本日の会が、皆様にとって、実り多い会となりますことを祈念し、開会にあたってのごあいさつとします。

令和 8 年 10 月 18 日

北栄町長　手嶋俊樹